YAMANOTE ROVERS JOURNAL

号外

全国大会とは？

社会へのボーイスカウト運動の理解を広めるために、加盟員の研鑽の場、参加者の情報交換の場として開催される年に1回のイベントである。今年の和歌山県での開催で10回目を迎える。ローバースカウトや指導者、見学の方々など、全国の多くの仲間と触れ合うことによって、ボーイスカウト運動に関わっている喜びを実感し、意義を分かち合うことができる。また、日本連盟や都道府県連盟の報告や展示、年次表彰、講演会の他、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親の場を設け、幅広くスカウト関係者からの意見・要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指していく。

2014年6月15日
発行：山手地区ローバー

全国大会出展の趣旨

目的：
2011年に山手地区ローバー会が設立されてから、今年で4年目となる。2012年に全国ローバースカウト会議（RCJ）が設立され、全国的にローバー活動が盛り上がってきている。最近の全国大会では、ローバー活動の出展は少なかった。今回は県連単位でのローバー活動の出展はあるものの、地区のローバーでの活動を報告・共有する場はなかった。今まで3年間の活動を全国的な場で発表することにより、全国のローバースカウト及び指導者と共有し、山手地区のローバー活動をPRする。

方法：
東京連盟山手地区ローバーとして活動をしてきた4年分の活動報告を展示及びチラシにより行う。また、今後の活動計画や世界ジャンボリーに向けて、地区のローバースカウトとしてどのように貢献できるのかについて知見を示す。また、ローバースカウトが地域を始め、地区や県、日本においてどう在るべきか。ローバースカウトに望むことを付箋に記入してもらい、アンケートを収集した。

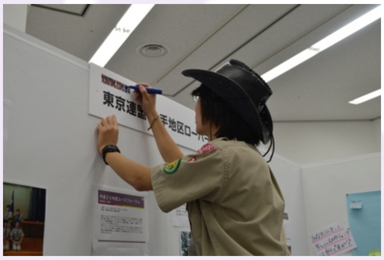
場所：和歌山県和歌山市和歌山県民文化会館

日程：2014年5月24日～25日

事前準備：
林 希一、渡邊 彩乃、五十嵐 美貴、込山 優、松尾 佐紀、泊 昌史、山中 佑介、早矢仕 晃章

参加者：
早矢仕 晃章、松尾 佐紀、泊 昌史、込山 優、山中佑介

旅程・大会スケジュール

	5月23日（金）	5月24日（土）	5月25日（日）
午前		起床	起床
		和歌山県民文化会館到着	和歌山県民文化会館到着
		ブース準備	ブース開始
		受付	
午後		開会式	全国ローバースカウト会議総会
		表彰式	
		ブース	片付け
		全国ローバースカウト会議発表 各県代表紹介・挨拶 愛知ローバース会議活動報告 CJKプロジェクト・バングラデシュ派遣活動報告 千葉県ローバース会議活動報告 ハッピーローバープロジェクトについて	移動
夜	羽田空港集合	片付け	夕食
	羽田空港発	全国有志によるローバーナイト、夕食会	関西国際空港発
	関西国際空港着		羽田空港着
	ホテルにて地区ローバーのミーティング		解散
	就寝	就寝	

目黒3団　早矢仕 晃章

「山手地区のローバーで和歌山の全国大会で展示を行いたいです！」そのような提案を地区コミッショナー、地区委員長にさせていただいたのは、昨年11月の目黒区ラリーの直後だった。私は数年前から日本連盟主催のバングラデシュ・プロジェクトに関わっており、全国のローバースカウトたちと接する機会が多かった。そこで、県単位や大学で、ローバー活動が積極的に行われていることを知った。しかし、地区でのローバー活動に注力しているというのは、不思議とあまり聞いてこなかった。また、昨年の第16回日本ジャンボリーでは、全国のローバースカウト有志によって「ローバーナイト」が企画され、大いに盛り上がったと聞いている。今全国的にローバーが活発になってきている。そういう実感が私にはあった。山手地区ローバーが設立してから3年。活動を始めて今年で4年目となる。そこで、ぜひこの機会に山手地区の「地区」におけるローバー活動を報告することで、全国のローバースカウトに地区ローバーとしての活動方法や楽しさを知ってもらいたい。このような思いが、今回の山手地区ローバーとしての全国大会での出展を実現させた。

私はローバー活動、そして仲間との交流から多くを学ばせていただいた。私が地区ローバーの必要性に気付いたのも、スカウティングの楽しさを再確認したのも、多くの仲間との交流からだった。私は、交流が何よりも大切であると感じている。そのような交流が地区の仲間だけでなく、全国的に行うことができたということは、山手地区のローバーにとって大きな前進になったと考えている。今回は、活動報告だけでなく、多くの方々にスカウティングの楽しさや地区ローバーに求めるものについてアンケートに答えていただいた。ここで得たデータは分析して、山手地区のスカウティング及びローバーリングにも活かしていきたい。

目黒15団　松尾 佐紀

平成２６年５月２４日～２５日に和歌山で開催された全国大会に山手地区ローバーで参加させていただきました。私自身、初めての参加で山手地区ローバーのブースを出展することができました。ブースには多くの方々に来ていただき、山手地区ローバーの存在・活動を知っていただけたかと思います。ブース内ではただ、活動内容や写真を展示しただけではなく、来ていただいた方に「あなたにとって楽しいスカウティングは何ですか？」「ローバースカウトに求めることは何ですか？」というどちらかの質問に答えていただきました。答えていただいた方には今回の全国大会の為に作成した「山手地区ローバー特製缶バッヂ」をプレゼントし、山口地区コミッショナーのアドバイスと渋谷第１４団の安海団委員長と宇津木副コミッショナーのご協力もあり、大変大好評でした。ブースでは多くの方々との交流と上記の質問を通して今後の活動に参考になりましたので活かしたいと思います。中でも、東京連盟の方々の「ブースの方はどう？」「頑張ってね！」というお言葉が私にとってはとても嬉しく、山手地区ローバーで参加してよかったと思いました。

ブース以外では、ローバーナイト（全国のローバースカウトと交流の場）に参加し、新しい出会い・久しぶりの再会もあり楽しい夜になりました。２日目には全国ローバースカウト会議総会の見学をし、運営委員・各県連代表の意見を聞くことができ、よい経験になりました。

渋谷6団　佐藤 直紀

全国大会,正直存在すらよく知りませんでした。当然,それに携わるのも今回が初。というわけで右も左もよくわからず…。今度の全国大会にRSでなんか出したいねなんて話はしていましたが。まさか本当にやってしまうとは。

さて,今回の全国大会,やはり目玉はアレでしょう。そう!!缶バッジです!!

苦労しました…というほどでもありませんが。小一時間ただひたすらガチャガチャ…出来上がる完成品を横目にしつつ…ちょっとした達成感を感じつつ…。自信作を和歌山に送り込むことが出来たと思います。

当日,なんと参加できなかったので,成功するように和歌山へ念を送ってました!!届いたかどうかは分からないけれど。

そんな全国大会でした。

渋谷5団　込山 優

「全国大会に参加して」

　全国には様々な考えを持った仲間がいることを感じた。そんな彼らに共通していることは、「ボーイスカウトが好きである」ということであった。

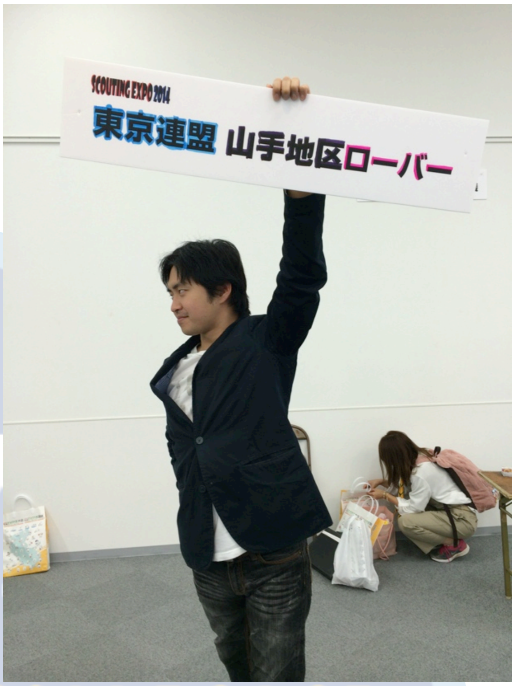
　今回の全国大会には、山手地区ローバーの活動を紹介するブースの展示・発表をメインに、全国のスカウト関係者と交流を深めた。特に、ローバー世代との交流では、それぞれの持つ考えをぶつけ合いながら切磋琢磨し合う姿が多く見られた。また、「スカウト活動をもっと楽しく」というコンセプトのPR活動も進められており、日本でのスカウト活動を活性化しようという意識を強く感じた大会でもあった。

　展示ブースでは、「楽しいスカウティングとは何か」と「ローバースカウトに期待することは何か」という二つについて、ブースに立ち寄って頂いた方々に意見を求めた。「楽しいスカウティングとは何か」ということについては、カブやボーイ年代の子供たちから多くの意見（＝ニーズ）をもらえた。これらは、地区行事活動への大きなヒントになったと考えられる。「ローバースカウトに期待することは何か」ということについては、多くの成人指導者から意見を頂き、地区ローバーの今後の方向性を見出せるものとなった。今回の展示ブースの多くは、県代表など大きな地区での参加が見られた。その中で、“地区”で出展していることに対して、多くの方から応援を頂けた。「ただ参加しただけでは、観光しに行っているのと変わらない。」と考えていただけに、ここで吸い上げた意見を今後の地区ローバーの活動や地区行事の活動に還元できるように、ブラッシュアップしてまとめていきたいと考えている。

ローバー世代のスカウトとの交流会は、様々な意見を交わすことができ、とても有意義な時間を過ごせた。ローバースカウトらしい活動とは何か、それを進めるためには何をしたら良いのかなど、日本でのスカウト活動をより活性化するための意見交換が多く行われていた。また、指導者としての悩みを抱える仲間もおり、どのようにスカウトと接していくのかなど、具体的な内容について話し合うこともあった。ここで知り合った仲間とのつながりを大切にしていき、今後の活動に活かせるようにしてきたい。

目黒3団　泊 昌史

平成２５年度、高松市で開催された全国大会では、早矢仕RSとともに、CJKプロジェクト・バングラデシュ派遣の広報を国際部のブースをお借りして行いました。次期派遣の参加者を直接リクルートすることを期待して臨んだために、リーダーや幹部の方々ばかりだった当時の参加状況に落胆した印象が残っています。



しかし、今年度、和歌山市で開催された全国大会では、私は３つの仕事を通じて、前年度以上の豊かで広がりをもつ成果が得られました。３つの仕事とは、山手地区による参画であり、国際部ブースの管轄であり、ローバーナイトの運営でした。

　私の知る限り、地区ローバースによるブース出展は、類を見ません。参加者の多くからも、驚喜と期待の声が寄せられました。次年度以降は、「新奇さ」を脱した、より高度なスカウティングを達成する、衆目の期待がわたしたちの双肩にかけられました。

　国際部のブースでは、CJK-Bクルーとアイルランド派遣のクルーらとともに、バングラデシュでの活動写真や、アイルランドのスカウティング・グッズを展示しながら、各々の経験した派遣の説明にあたりました。また、２４日の夕方において、早矢仕らCJK-Bのクルーたちは、ポップなスライドを用いて活動を報告しており、ローバーリングの最高峰のプロジェクトの一つであることを印象づけられたと思われます。

　そして、２４日の夜の、親睦会・ローバーナイトには、主に近畿と関東からの参加者が５０人集いました。わたしをふくめ５人の運営委員で事前手配した、和歌山城近くの和民で、お酒を禁じて、晩餐に与りました。和歌山城近くで記念撮影した際には、青少年の気運の高潮が感じられました。運営委員と山手地区のローバースを含め、２４名は和歌山市のリーダー赤居さんのご実家に泊まらせて頂きました。活発な議論が交わされました。事実、その時の参加者によって、夏季にムートが結実しそうです。

　山手地区ローバースは、独特な立脚点から、様々な問題に対してのアプローチが可能です。ARCの活躍やCRCの興隆は県単位ですが、われわれはより小規模かつ地域に根ざした活動単位であることが特徴的です。今後活動実績を蓄積し、定期的な広報を継続していくことで、地区ローバースの重要性が認知され、スカウティングの発展に寄与できることでしょう。新奇さが自明視される日が来る可能性は、決して大袈裟ではないはずです。わたしたちはその先鞭をつける、先駆的な立ち位置にいると言っても過言ではありません。

目黒15団　林 希一

私は、今回の全国大会には参加できませんでしたが、裏方で皆をサポートしてきました。
全国大会のことは、以前から耳にしていましたが、どんなことをする大会なのかは、全く知りませんでした。しかし、以前参加したことのあるメンバーの意見を聞きながら、サポートしてきました。大会前に、4種類のデザインの缶バッジの制作に加わり、約100個のバッジを作りました。1時間程度で完成し、全国にも山手地区をPRできるようなものにできたかと思います。
この大会を通じて、山手地区ローバーをよりPRできるように努めていきたいと思います。

今回、全国のローバースカウト及び指導者の方々にアンケートを実施し、回答を付箋に書いてもらった。「あなたにとって楽しいスカウティングとはなにか」、「ローバースカウトに望むことはなにか」の2つの事項について、アンケートを実施した。記入してくださった方には、山手地区ローバーの記念缶バッジをプレゼントした。今回集めたアンケートの内容を集計しまとめたところ、以下の様なグルーピングをすることができた。今後、地区でもアンケートを実施し、山手地区のスカウティングとローバー活動に活かしていきたい。

ずっと過ごしていきたい居場所

- 色んな経験が出来る
- 色んな人との交流
- 仲間との活動
- 笑顔
- 子供たちの成長
- アクティビティスキル
- 社会奉仕活動
- キャンプ
- スカウティング

より良き社会人になるための活動

- 限界への挑戦
- スカウト活動のPR
- 行動力・革新
- 社会奉仕
- やる気
- チームワーク
- ワークバランス
- ローバー・スカウティング
- 世界のスカウトと交流

新規メンバー募集!!

山手地区ローバーでは新規メンバーを募集しています。経験やスキルは問いません。やる気さえあれば問題ありません。一緒に山手地区のローバーの活動を盛り上げていきましょう!!楽しいイベントも色々企画していくのでぜひご参加ください!!